

四街道市小中学校

児童生徒サミット

「SNS四街道ルール」の策定について



平成29年1月12日・2月3日 実施
四街道市教育委員会



スマートフォン・携帯電話の普及により、子どもたちが多様なネットワークを広げている反面、いじめ等のトラブルや犯罪に巻き込まれる危険性も非常に高い状況です。そのような中、四街道市内の児童・生徒の代表が一堂に集まり、自分たちの視点で話し合い、自らの手でSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）ルールを策定しました。

四街道市の状況

(1) スマートフォン・携帯電話の所持率

	H26年度	H27年度	H28年度
小学6年生	53%	58%	62%
中学3年生	80%	84%	85%



※ H26、27、28年度「全国学力・学習状況調査」から

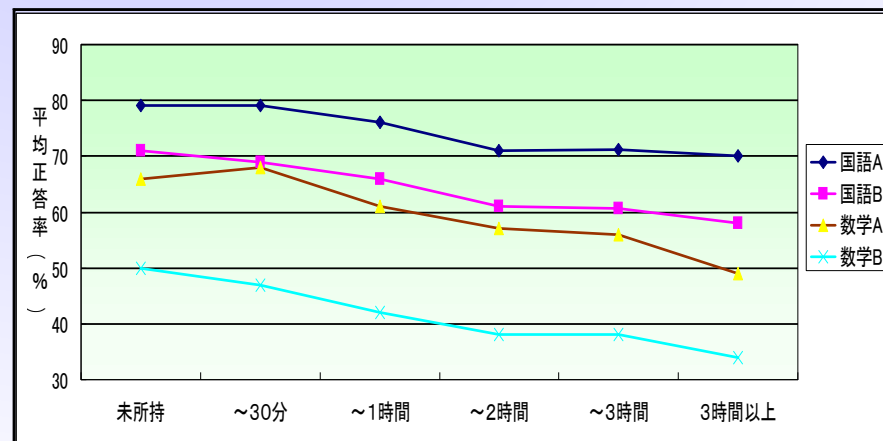
(2) スマートフォン・携帯電話の利用時間

	未所持	30分未満	～1時間	～2時間	～3時間	3時間以上
小学6年生	38%	30%	12%	8%	5%	7%
中学3年生	15%	17%	18%	19%	13%	18%

(携帯電話やスマートフォンでゲームをする以外の使用時間)

※平成28年度「全国学力・学習状況調査」から

(3) スマートフォン等の使用時間と学力の関係 (中学3年生)



※平成28年度「全国学力・学習状況調査」から

(4) SNS等によるトラブル例

- ・悪口やグループでの仲間はずれ(ブロックをする)。
- ・勝手に写真や個人情報がSNSに掲載されていた。
- ・ゲームのアイテムを購入しすぎて、高額を支払った。
- ・ラインやメールばかりをして、勉強不足、睡眠不足になった。
- ・ちょっとした一言で、ブログが炎上した。
- ・知らない人とつながり、怖い思いをした。
- ・いつの間にか間違った情報が流れ、友達から誤解を受けた。

※平成28年度 小中学校児童生徒サミットから問題提起された内容



